

## 第77回東海三県高校将棋大会 結果

海の日(7月17日)の7月17日(月)、東海高校で第77回東海三県高校将棋大会が開催され、愛知・岐阜・三重から団体戦に40チーム、個人戦に165名の申込があった。藤井聡太四段の活躍の影響か、参加者が大きく増えた。特に団体戦のこのチーム数は記憶にない。

### 【団体戦】

団体戦は3人制で、AからFまでの各級原則6校による総当たりリーグ戦(今回のFは10校で5対局ずつ)を行い、成績により昇級・降級がある。持ち時間は30分の切れ負け。トップリーグのA級では、高校選手権愛知県代表の愛工大名電が全チームに勝って、見事に3連覇を達成した。2位には同岐阜県代表の鷺谷高校が入った(表を参照)。

### 第77回東海三県高校将棋大会団体戦A級

Aリーグ	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	勝点	勝数	順位
1 愛工大名電	6 ③	5 ②	4 ②	3 ②	2 ③	5	12	1
2 南山男子部	3 1	6 ②	5 0	4 1	1 0	1	4	6
3 東海	2 ②	4 1	6 ②	1 1	5 1	2	7	4
4 岐阜北	5 0	3 ②	1 1	2 ②	6 0	2	5	5
5 鷺谷	4 ③	1 1	2 ③	6 0	3 ②	3	9	2
6 旭丘	1 0	2 1	3 1	5 ③	4 ③	2	8	3

B級以下各リーグの上位校は次の通り。今回は全リーグの1位が愛知県の学校だった。

B級①南山女子部 ②刈谷

C級①松蔭 ②豊田西

D級①滝 ②天白

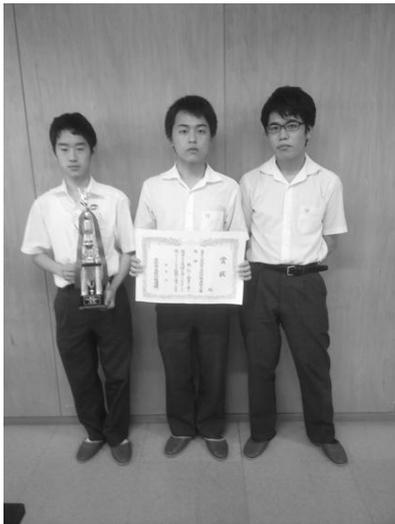
E級①岡崎 ②四日市

F級①刈谷北 ②愛産大工業

このうち、刈谷、豊田西、愛産大工業を除く7校はひとつ上の級の下位校との入替戦にも勝って、昇級することになった。南山女子部は女子チームとして初のA級入りである。

### 【個人戦】

個人戦はトーナメント方式で行なわれた。この日はベスト 32 までは 20 分切れ負け戦、以降は 25 分の切れ負け戦とした。決勝戦には、過去 2 回準優勝の三輪優斗君（鶯谷 3 年）と木村隼己君（豊田高専 1 年）が進出。相振り飛車戦で、先手の三輪君は三間に振って矢倉城に入り、木村君は向飛車で美濃囲いを組む。木村君が先攻し、激しく攻めて優位に立ったが、終盤は互いに残り時間が切迫。周囲が見守るなか、木村君が寄せきって初出場で優勝を飾った。愛知県勢の優勝は 8 大会ぶりである。また、3 位決定戦では倉島悠吏君（名電 3 年）が木村野乃花さん（津島 2 年）に勝って、3 位入賞を果たした。



団体戦優勝の愛工大名電高校  
(左から瀬野君、中村君、堀尾君)



個人戦入賞者  
(左から三輪君、木村君、倉島君)

次回は来年 2 月に開催予定で、参加には事前申込が必要。新規参加の問合せは、年内に南山高校女子部奥野まで（052-831-0704）。

以上